

2017年9月29日
日本生命保険相互会社

ドイツ農林金融公庫のSRI債への投資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、ドイツ農林金融公庫（正式名称：Landwirtschaftliche Rentenbank、以下「レンテンバンク」）が私募形式で発行するSRI債（Socially Responsible Investment 債券、以下「当債券」）に50百万米ドル（約55億円）投資しました。なお、当債券はレンテンバンクが、欧州域外の機関投資家向けに私募形式で発行する初のSRI債となります。

レンテンバンクは、ドイツ国内における農業セクターや地方開発の促進を使命とする国内有数の農業系銀行です。同行は、再生可能エネルギーを含む幅広い農業関連投資案件に対する低利融資を通じ、ドイツ政府が推し進める環境政策において多大な貢献を果たしています。

当債券による調達資金は、ドイツ国内における風力やバイオマス等の再生可能エネルギーを促進するプロジェクトへの融資に使用されます。当社は、当債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、投資資金が持続可能な社会形成の一助となることを期待しています。

なお、当社は昨年度、国連責任投資原則（PRI）（※）への署名を行っているほか、中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4年で1.5兆円の成長・新規領域への投融資を目指す中でESG債等への投融資2,000億円を目標としており、社会貢献領域への投融資を行う当債券もその一つと位置付けています。

※ 持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等がESG課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する原則

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ESG投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

○レンテンバンク Spokesman of the Board of Managing Directors

Dr. Horst Reinhardt 氏のコメント



この度、ドイツ国内の再生可能エネルギープロジェクトを支援するために新たに発行した SRI 債に対し、日本生命に投資いただいたことを大変嬉しく思っています。今回の私募形式発行は、日本生命の持続可能な投資に対する需要に完全に合致したものです。

ドイツは、長期的な気候保護に注力しており、「Renewable Energy Sources Act (EEG)」(*)に基づき 2050 年までに再生可能エネルギーの割合を 80%以上増加させることを目指しています。レンテンバンクのミッションの一部として再生可能エネルギープロジェクトの促進に取り組むことで、この高い目標達成に貢献してまいります。

※再生可能エネルギー発電の促進を図るために制定されたドイツ国内法

○当社取締役執行役員 大関洋のコメント

今回、レンテンバンクが発行する SRI 債への投資を通じて、ドイツ国内における再生可能エネルギーの利用促進に貢献できることを大変嬉しく思っています。また、環境意識の高い欧州において、レンテンバンクのように先進的な取組を行っている発行体との関係構築を通じて、環境取組への理解を深めたいと考えています。

今後も超低金利下において運用収益を確保しつつ、グローバルに ESG 投融資を強化し、ご契約者に納得いただける運用を実践してまいります。



以 上